

1 当該学年・学期等における探究課題 《明治のごんぼうの魅力や生産者の苦勞について深く知る。》

2 単元名 『明治ごんぼうのひみつを探ろう』 (全45時間=実施時期: 11月~3月)

3 単元のねらい

明治ごんぼうや、農家の方の取組に関わる探求的な学習を通して、芳井地域の特色を生かした明治ごんぼうづくりの魅力について理解し、自分の疑問や関心から課題を設定する。目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集める力や、事象を比較・分類しながら特徴を相手に応じて分かりやすくまとめ、表現する力を育てるとともに、自分たちの住む芳井町の明治ごんぼうを誇りに思う態度を育てる。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢いの仕掛け、引き出された子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		明治ごんぼうが日本各地で有名なことを知り、興味をもつ。	地域の人に尋ねたり、ごんぼう掘りを体験したり、実際に食べたりする。	他のごぼうと比較して、明治ごんぼうのすごいところを見つけてまとめる。良さが伝わるメニューを考える。	明治ごんぼうのすごさをまとめ、家族や他学年、地域の方に伝える。
仕掛け・工夫	もの	明治ごんぼうが食材として取り上げられた映像を見て、日本各地で有名なことを知る。		他のごぼうと明治ごんぼうを見比べたり食べ比べたりして、違いや良さに気付く。	学習してきたことをいろいろな人に伝える計画を立てる。
	ひと		ごんぼう村村長さんの話を聞く。		芳井町以外の人にも明治ごんぼうの良さを知ってもらおう。
	しごと(こと)		ごんぼう畑の見学をしたり、ごんぼう掘り体験をしたりする。	生産者の大変さ、ごんぼうにかける想いを聞いたり、自分たちが体験して感じたことをまとめたりする。	
引き出した姿	いばら愛 <small>(郷土愛と当事者性)</small>	身近な「明治ごんぼう」が日本各地で使われていることを知り、興味をもつ。	畑の様子や景色など、明治地区の自然に触れながら学習に取り組む。	ごんぼうの良さを改めて実感する。	ふるさと芳井の特産物に誇りをもつ。
	やり抜く力 <small>(忍耐と向上心)</small>		生産者の話を聞いたことをまとめるとともに、ごんぼうについての興味を高め、さらに調べようとする意欲をもつ。		
	まき込む力 <small>(発信と協働)</small>		見学学習のルールとマナーを守りながら学習に取り組む。	ごんぼうの良さを生かす方法を考えようとする。	学習してきたことをポスターや新聞等にまとめて、家族や他学年、井原市の方に発信する。
アウトプットの工夫		ごんぼうの良さをまとめ、様々な方法でPRする。			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

社会科「わたしたちの暮らしとまちではたらく人々」

6 他学年、他校(園)種との連携・接続・交流

課題設定

芳井の自慢を話し合う中で、社会科で学んだ「明治ごんぼう」について想起し、関心をもった。



「明治ごんぼう」について知っていることを出し合い、地域の特産品について詳しく知らないことに気付く。

単元のねらい

明治ごんぼうや、農家の方の取組に関わる探求的な学習を通して、芳井地域の特色を生かした明治ごんぼうづくりの魅力について理解し、自分の疑問や関心から課題を設定する。目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集める力や、事象を比較・分類しながら特徴を相手に応じて分かりやすくまとめ、表現する力を育てるとともに、自分たちの住む芳井町の明治ごんぼうを誇りに思う態度を育てる。

情報収集



ごんぼう畑を尋ね、生産者の話を聞く。



ごんぼう掘りを通して、興味を高める。



インターネットを活用しての調べ学習。しかし、欲しい情報がなかなか見つからず、地域の方に質問することにした。



グループごとに質問会を行い、情報収集をした。少人数での会のため、一人一人が意欲的に参加し、よく考えながら質問することができた。

整理・分析

調べて分かったことを整理し、明治ごんぼうの魅力を変えて考える。



学習してきたことをまとめたり、ごんぼうの良さをPRする方法を考えたりすることで、ごんぼうの良さを発信するための整理を行う。

まとめ・表現



Googleスライドを活用して、明治ごんぼうについて分かったことをまとめる。



家族や地域の方に向けてPRし、少しでも多くの方に興味を持ってもらうことで、学習への達成感を味わう。

8 成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 地域の方に協力していただきながら、地元の特産物「明治ごんぼう」のすばらしさを知ると共に、良さを発信することができた。
- △3年生の総合的な学習として調べ方や整理の仕方などを段階を踏んで指導する必要があり、充実しながらも準備に大変さが残った。
- ☆タブレットの導入に伴い、ローマ字入力や、タブレットの操作に慣れておくことが必要だと感じた。また、資料を作成する際に使用する画像などの著作権に留意する必要があった。